

みんなで考えてみよう 「うすだ」の未来

市町村合併町民アンケートにご協力 ありがとうございました

二月上旬に実施しました、市町村合併町民アンケートには大勢の皆さんにご協力を頂き、ありがとうございました。現在アンケート結果の集計を行なっておりますが、集計結果につきましては、3月号から順次お知らせします。

今回はアンケート調査にご協力いただいた皆様に提供しました資料の一部を掲載します。合併の意義について、再確認してみましょう。

今なぜ市町村合併なのでしょうか

地方分権の時代を迎え、住民とのパートナーシップのもと、個性豊かな地域社会と、行政能力の向上による安定したサービスの提供ができる体制づくりが求められています。

今、全国的に市町村合併の取り組みが進んでいますが、その背景には、次のような状況や課題があるからです。

生活圏や生活様式が大きく変化しています

白田町は昭和三十二年に合併し、今年で四十五年を迎えましたが、住民の日常生活圏や、生

少子高齢化が進行しています

少し前までは、六人で一人の将来は、二人で一人を支えなく

活様式などをはじめ、市町村を取り巻く環境は大きく変化しています。

地方分権が進んでいます

地方分権が推進され、市町村の果たす役割は今後ますます重要となり、効率的な行政運営と安定的な質の高いサービスの提供が求められてきます。

国と地方の財政は、厳しさを増してきています

経済状況は、今までの右肩上がりは期待できなくなつてきたり、税収も落ち込み財源不足が生じてきます。国も多くの借金を抱える中で、今までどおり、国からのお金を受け取るとしてサービスを提供することは難しくなってきています。

地方財政も国からの交付税が減額、税収の伸び悩みで財政環境は一段と悪化してきています。

国や県の合併支援策は？

- 合併特例法による支援措置
- 支援プランに基づく財政上の重点支援

合併すると暮らしは良くなるの？

- 合併すると次ののような効果があるといわれています。
 - 勤務地の近くでも色々な施設が使えるようになります。窓口サービスを受けられます。
 - 行政運営の効率化が図られ、財政基盤が強化し、福祉や教育文化、生活環境などを充実することが可能になります。
 - 総合力が高まり、個々の町村ではなし得なかつた大きなプロジェクトが可能になります。
 - 高度で充実したサービスの提供が可能となり、より豊かな生活が可能になります。
 - 地域イメージが向上し、人や産業の集積や交流が盛んになり、経済の発展が期待されます。

※市町村の合併は、いつでも可能ですが、多くの支援策を打ち出している現在の合併特例法の期限は、平成十七年三月三十一日であり、各地で検討されているのは、この期限を視野に入れているからです。

- 新市町村建設計画への県事業の重点配分
- 情報提供や合併支援体制の強化
- 県の支援策は？

合併特例法の期限が
平成17年3月31日
なんだね。

